

を造宮願望の達成を喜んだ。

また城門の鎮護と、庶民の安穩を心から祈願したと伝えられる。

今は一面が畑で、昔を偲ぶことはできないが、時折り一字一石の小石を見出すことがある。

明治六年、癡寺の時、本尊であった正観世音は多くの信者によって、長寧寺境内にお堂を建て遷座し、大日如来像とともに安置されている。

(話者 本田栄二)

## 岩 崎 山

《木之崎》

岩崎山は横田、木之崎の中間の北の山で、岩壁の巨岩が露出して、山上には緑の松がそびえ立ち、大変、風光明媚の地である。

ここは古くから当地方の靈地で、沢山の供養塔がある。古代は、梓衝亀居山と並び、原始信仰の場所で、それが当地方の靈場化となったのではなからうか。

俗称、えぞ穴と呼ばれる岩窟の奥壁は、蓮華座をもつ、阿弥陀の種子、種子と年号の間に、「光明真言」の梵字が二行ある。

右志者為印範 房

敬白